

診療科目

内科・神経科・循環器内科・消化器内科・小児科・緩和ケア科・外科・消化器外科
整形外科・脳神経外科・皮膚科・泌尿器科・産婦人科・眼科・耳鼻咽喉科・麻酔科
歯科口腔外科・放射線科・病理診断科

病床数

318 床

(うち 6 床は HCU、16 床は緩和ケア病床)

S T 部門開設
しました！



スタッフ構成

P T：4 名 O T：1 名

S T：1 名 助手：2 名

施設の特徴

- 急性早期の患者のリハビリが主体
- 周術期及び緩和ケアリハビリに対応(がん患者リハビリテーション料算定)
- 嚥下評価として嚥下内視鏡検査・嚥下造影検査可能
- NSTと連携しリハビリ患者の栄養管理を支援
- 併発する誤嚥性肺炎に積極的に介入
(摂食嚥下専門ST、呼吸療法認定士、摂食・嚥下障害看護認定NS在籍)
- 各種競技外傷による術前後スポーツリハビリ対応(整形外科にスポーツ認定医在籍)

今後の方針

- 地域医療支援病院として連携を推進する。他施設への転院や自宅復帰に向け円滑な情報提供を行う。
- 転帰先スタッフ宛てに入院中の患者身体機能・ADL・家族情報などを、経過報告書または退院時指導書にて明確にお伝えする。
- 地域連携の一環で多摩市STの会、OT都市会南多摩西多摩ブロックに参加。
- がん拠点病院として緩和ケア、化学療法、周術期リハビリの充実を図るため、ケースカンファレンス・カンサーボード・デスカンファレンスに参加し、がんチーム医療の連携を推進する。
- スポーツリハビリに対応するため、徒手療法・物理療法・テーピング技術を研鑽する。
- 平成28年度からST部門開設となり、失語・摂食嚥下評価や治療の充実を進める。